

# アプローチの成功率を上げるための基本



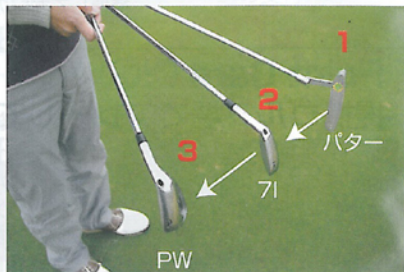
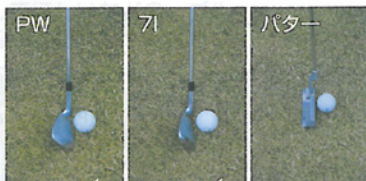
アプローチの成功率を上げるための基本は、某有名プロゴルファーが言っていたように「ゴルフはゴロフ」ということだと思います。どういうことかということそれは言葉どおりゴロを打つ、転がすということです。グリーン上のパットもカップに入れる、近づけるためのアプローチであるといえます。一般的なアプローチとパットの違いは芝生のライだけです。

トーナメントでプレーするプロゴルファーを見て頂いてもわかるようにどんなに長い距離のパットが残ってもライン上にバンカー、ラフなどの障害物がある場合を除いてはパターを使います。グリーン上ではパターを使わないといけないというルールがあるわけではないのになぜそうするか。答えは簡単、それが最も成功率が高いプレーだからです。

## まず、できるだけ“転がす”

それは本題のアプローチの成功率を上げるための基本ですがそれはできるだけ転がすということです。

まずはパター、それがダメなら7I、それもダメならPW...というふうクラブ選択していきましょう。



## 選ぶクラブによって“飛距離”が違う。

ロフト角が少ないクラブほどボールが低く飛びスピンの少ないから小さいスイングで距離が出せます。私が同じ大きさのスイングでPW、7I、パターでボールを打つと(写真①)のようになります。逆に言うとPWでパターと同じ距離を出すためにはパターより大きなスイングが必要になり(写真②)、それが結果として右の写真のようにトップ、ダフリなどのミスの原因となってしまいます。大きなスイングをしようとそれだけミスが出やすくなるので当然です。



## 20ヤードアプローチの パターとPWのバックスイングの 大きさの違い



ゴルフというスポーツは18ホールをどれだけ少ないスコアでプレーするかというものです。誰もがより少ないスコアでプレーしたい「70台で回りたい」「100を切りたい」などと思い練習したりして頑張られていると思います。もちろん、フワッと高いボールでグリーンに落ちたらピタッと止まるようなアプローチが出来た時は気持ちがいいものです。しかしそのようなショットに挑戦するときは(写真④)のような状況の時にするようにしましょう。(写真③)のような時は迷わずパターでアプローチをするようにして、(写真⑤)のような時は7Iのようにロフト角が少ないクラブでアプローチをするようにしましょう。



実力と技術があればどのような状況でもどのクラブでもその時の最も成功率の高いショットを打つことができます。しかし、実力も技術もないのにパターですべきアプローチの状況でPWを使いアプローチを行いそれが大きなミスになってしまえばスコアでも気持ちの面でも大きなダメージを負ってしまうでしょう。全ての事に共通すると思いますが得ることより失うことのダメージの方が大きいです。ラッキーで出来るかもしれないPWのフワッと柔らかいアプローチを得ることより、それが失敗してスコアや自信を失う方が大きいということです。

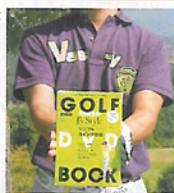


ゴルフに関わってきて約25年になりますが多くのアマチュアの方がティーショットは全てドライバー、アプローチは全てPW、そしてゴルフが終わった後に「あの時あのようしていれば……」と聞くことがよくある気がします。より多くのゴルファーの方に上達してもらいたいと思います。

まずは転がすアプローチをマスターするように練習してください。

### ゴルフレッスンDVD発売中!!

ゴルフレッスンDVDを全国の書店にて発売してもらっています！基本、グリップ、アドレス、スイングの4パート30の項目にまとめて構成しています。これを見て頂ければゴルフがきつと変わるはずですよ!!



### 今井純太郎のホームページ&ブログ誕生!!

ホームページとブログもチェック!! ブログではここだけでは伝えることのできないレッスンに日々の出来事、また気づきなどを綴っていきたいと思います。ホームページにはレッスンや無料でご覧頂ける動画レッスンなどがあります。もちろん今回のテーマのアプローチについての動画レッスンもありますのでみなさん是非ご覧ください。



Junjaro Imai  
ゴルフアカデミー



ジュンタロウとゴルフとそのあいだのこと



今井純太郎  
YouTube 無料動画レッスン

ホームページ <http://jiga-d.com/>  
ブログ <http://jiga-d.com/blog/>

今までのGOLF-NOWゴルフレッスンを<http://www.jig.jp>にて紹介させて頂いております。また、ゴルフ雑誌「EVEN」に私のゴルフレッスンを連載して頂いています。Golf Now 読者の皆さんにもきっと何かのヒントになると思いますがよろしかったらご覧ください。

ゴルフ雑誌「EVEN」  
72ヴィジョンゴルフ  
GOLF-NOW  
月刊ゴルフダイジェスト  
等にレッスン記事執筆中。  
《JG新編》プロゴルフコーチ  
今井純太郎 プロフィール



6年間アメリカにてさまざまなティーチングプロよりゴルフスイング理論を学ぶ。その経験から、独自のゴルフスイング理論を確立。初心者の指導はもちろん、これまでに何人かの男女ゴルフをゴルフ界に送り出している。